

Ⅲ 健康増進課関係業務

1 健康づくり事業関係

(1) 「健康上十三21」の推進について

上十三地域の早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、発病を予防する一次予防の重視を基本に、重点戦略4領域（①栄養・食生活 ②こころの健康づくり ③たばこ ④アルコール）と、その他の領域（①身体活動・運動 ②歯の健康 ③糖尿病 ④循環器病 ⑤がん）の行動目標を掲げ、各領域で健康づくりを推進した。

(2) 「市町村健康づくり計画」の推進について

各市町村健康づくり推進協議会等を通して、健康づくり推進状況を把握し、効果的推進について支援した。

(3) 各市町村健康づくり推進協議会等への参加

保健所長が、全市町村の健康づくり推進協議会等の委員として委嘱され、各市町村の推進協議会等へ出席した。

なお、十和田市生涯健康づくり推進協議会には専門部会が組織されており、その部会の委員として、健康増進課長及び健康づくり（母子・精神）担当者が委嘱され、出席した。

市町村名	期 日	会 議 名	出 席 者
十和田市	平成 23 年 9 月 29 日	心の健康づくり部会	健康づくり（精神）担当者
	平成 23 年 10 月 7 日	母子保健部会	健康増進課長
	平成 23 年 10 月 26 日	生活習慣病予防部会	保健所長、健康増進課担当
	平成 22 年 10 月 27 日	市民健康部会	欠席
	平成 23 年 11 月 10 日	生涯健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
	必要時開催	調整部会	
三 沢 市	平成 23 年 4 月 26 日	歯の健康づくり推進協議会	健康増進課長、健康増進課担当
	平成 23 年 5 月 16 日	健康推進対策協議会	保健所長、健康増進課担当
野辺地町	平成 23 年 5 月 27 日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課担当 2 名
	平成 23 年 11 月 8 日	健康づくり推進協議会	健康増進課長
七 戸 町	平成 23 年 1 月 24 日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課
六 戸 町	平成 23 年 6 月 27 日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長
	平成 23 年 3 月 22 日	健康づくり推進協議会	健康増進課長
横 浜 町	平成 23 年 7 月 25 日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課担当
	平成 24 年 2 月 20 日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課担当
東 北 町	平成 24 年 2 月 9 日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課担当 2 名
六ヶ所村	平成 23 年 6 月 23 日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課担当
	平成 23 年 11 月 10 日	健康づくり推進協議会	保健所長、健康増進課長

(4) 喫煙対策推進事業

喫煙は、肺がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患など多くの疾患の危険因子であり、また、喫煙者だけでなく、周囲の非喫煙者にも健康被害を及ぼすことから、喫煙対策は生活習慣病を防止する上で重要な課題である。

そこで、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発を図り、「健康あおもり21」（たばこ領域）の基本指針及び行動目標を実現することを目的に、防煙・禁煙教室、受動喫煙防止対策推進のための研修会や空気クリーン施設の登録を行った。

ア 防煙教室・禁煙教室実施状況

	期 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
1	平成23年 7月19日	三沢市立第三 中学校	講話 「タバコとみなさんの健康」 ※教室開催について、三沢市と 上十三保健所が協議・企画した。	三沢市保健相談セ ンター 山口 文衣保健師	三沢市立第三中学位 1学年生徒14名 担当教員1名 計15名
2	平成24年 2月1日	十和田市合同 庁舎	「青森県と上十三地域の喫煙状況 の比較」 講話 「喫煙と健康～禁煙のすすめ～」	上十三保健所 健康増進課 技師 木村 梨沙 十和田市学校薬剤 師会会長 細川 隆哉 氏	管内市町村喫煙対 策担当者7名 上北地域県民局職 員32名 その他希望者6名 計45名

イ 研修会及び広報活動・調査等

(ア) 6月15日、6月29日の特定給食施設研修会において、空気クリーン施設のパンフレットを配布し、受動喫煙防止対策と空気クリーン施設推進事業の説明を行った。(参加者人数は、6月15日109名、6月29日92名)

(イ) 保健所の給食施設巡回指導の際に、空気クリーン施設推進事業について周知。

(ウ) 依頼に応じて教材等の貸し出しの実施

<貸出先> (平成24年3月末現在)

貸出先	件数
計	5件
市町村	1件
学校関係	4件
他保健所	0件

<貸出物品>

肺の模型、DVD、たばこ教育セット、パネル

ウ 健康あおもり推進隊『空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）』・『空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）』推進事業

平成15年5月1日から施行された健康増進法において、受動喫煙による健康への悪影響を排除するために、多数の者が利用する施設管理者は、受動喫煙防止する措置を講ずるよう努めなければならない旨が規定された。

このことから、施設管理者及び飲食店経営者、タクシー会社管理者に対し、禁煙の措置を講ずるよう支援し、住民の良好な健康づくりのための環境整備に資することを目的に、「空気クリーン施設」の登録制度の普及を促進した。（平成24年3月末現在で267施設登録）

空気クリーン施設 施設種別・市町村別登録状況（平成24年3月末現在）

*施設種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
十和田市	4		19	39	2		5		6		4	5	84
三沢市	6	2	8	19			2		4				41
野辺地町			6	11			1						18
七戸町	7	8	15	10	3	7	5		1	1	12		69
六戸町	2	2	7	5		2			2		2		22
横浜町	1		4	1					2				8
東北町			6	4	2				1		2	1	16
六ヶ所村	1		5	2			1						9
合計	21	12	70	91	7	9	14	0	16	1	20	6	267

*施設種別：1官公庁 2文化施設 3教育・保育施設 4医療施設 5福祉・介護施設 6体育施設 7事業所
8公共交通機関 9飲食店 10宿泊施設 11その他施設 12タクシー車輛

*喫煙対策推進事業実施要綱が平成20年度に改正になり「空気クリーン施設」の条件は、禁煙のみとなった（分煙は認めず）。

（5） 保健協力員の育成

保健協力員が活動に関する学習と情報交換を行い、活動を活性化するとともに、健康づくりの推進に役立てることを目的に総会、研修会、役員会を実施した。

ア 上十三保健所管内保健協力員連絡会役員会

回数	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	平成23年 6月21日（火）	上十三保健所	1 平成23年度事業計画について 2 情報交換（各市町村の活動目標等） 3 その他	保健協力員 8名 市町村職員 8名 保健所職員 2名
2	平成24年 3月1日（木）		1 平成23年度事業報告について 2 平成24年度事業計画について 3 情報交換	保健協力員 8名 市町村職員 8名 保健所職員 4名

イ 上十三保健所管内保健協力員連絡会総会及び研修会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成23年 9月12日(月)	野辺地町 中央公民館	<総会> 1 平成22年度事業報告及び決算報告 2 平成23年度事業計画及び予算案	保健協力員 97名 市町村職員 12名 保健所職員 4名
		<研修会> 研修テーマ:「地域が支える医療」 講師: NPO 法人 地域医療を育てる会 久保田 健太郎氏 <活動発表> 野辺地町フォークダンス披露 演者: 野辺地町フォークダンス研究会	

ウ 役員研修会

期 日	場 所	内 容	参加者数
平成23年 7月21日(木)	上十三保健所	1 自殺対策朗読劇 テーマ: 借金問題は必ず解決できます 演者: 上十三保健所管内保健協力員役員 2 情報交換	保健協力員 15名 市町村職員 7名 保健所 3名

エ 管内市町村保健協力員数

(平成23年度)

市町村名	保健協力員数	市町村名	保健協力員数
十和田市	221	六戸町	75
三沢市	112	横浜町	62
野辺地町	99	東北町	176
七戸町	172	六ヶ所村	84
		計	1,001名

2 母子保健事業関係

(1) 未熟児訪問指導実施状況

(平成23年度3月末現在)

	訪問指導 件数 (実人員)	<再掲>出生体重別件数(実人員)					
		500~999g	1000~ 1499g	1500~ 1999g	2000~ 2499g	2,500g 以上	
管内	十和田市	28(13)	4(2)	4(3)	12(4)	4(2)	4(2)
	三沢市	21(13)	4(2)	4(4)	8(4)	2(2)	3(1)
	野辺地町	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	七戸町	2(2)	0(0)	0(0)	2(2)	0(0)	0(0)
	六戸町	2(1)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	0(0)
	横浜町	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)
	東北町	3(2)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	1(1)
	六ヶ所村	5(4)	0(0)	1(1)	3(2)	1(1)	0(0)
	小計	62(36)	8(4)	9(8)	27(13)	10(7)	8(4)
管外(里帰り等)計	6(6)	0(0)	1(1)	1(1)	3(3)	1(1)	
合計	68(42)	8(4)	10(9)	28(14)	13(10)	9(5)	

() は実人員

(2) 療育相談(肢体不自由児等)

発育・発達に心配のある児童及び未熟児等を対象に整形外科専門医による相談を年12回実施した。(十和田会場9回、三沢会場3回)

(平成23年度3月末現在)

市町村名	相談人員	再掲		
		要治療	治療不要	経過観察
十和田市	48(24)	8(6)	7(7)	33(11)
三沢市	24(12)	6(5)	3(3)	15(4)
野辺地町	3(1)	0(0)	1(1)	2(0)
七戸町	7(5)	2(2)	1(1)	4(2)
六戸町	4(3)	2(1)	2(2)	0(0)
横浜町	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
東北町	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
六ヶ所村	3(2)	0(0)	2(2)	1(0)
管外	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	89(47)	18(14)	16(16)	55(17)

() は実人員

(3) 長期療養児療育相談指導事業

疾病により、長期にわたり療養を必要とする児童について、小児科専門医等による相談及び小児慢性特定疾患医療券交付時の面接による相談、新規申請者における日常生活の把握をし、支援強化を図った。

(平成23年度)

事業内容	専門医による相談		保健師による相談指導		
	小児慢性 特定疾患	未 熟 児	家庭訪問	随時相談	電話相談
相談件数	1	0	11	44	13

(4) 養育医療・育成医療給付申請等処理状況 (平成23年度)

市町村	養育医療	育成医療
十和田市	16	38
三沢市	13	11
野辺地町	1	2
七戸町	3	2
六戸町	2	1
横浜町	1	1
東北町	3	9
六ヶ所村	3	4
管内計	42	68

(5) 小児慢性特定疾患治療研究事業 (平成23年度)

	区 分	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	計
01	悪性新生物	6	10	2	2	2		2	1	25
02	慢性腎疾患	4	4	2	1	1		1	2	15
03	慢性呼吸器疾患	1	1		1					3
04	慢性心疾患	7	14	3	1			4	6	35
05	内分泌疾患	16	8	1	6	3	1	5	3	43
06	膠原病	9		2				1		12
07	糖尿病	3	4					2		9
08	先天性代謝異常	2	2		1					5
09	血友病等血液・免疫疾患	3	1		1	1				6
10	神経・筋疾患	1	5	2						8
11	慢性消化器疾患	5	1					1		7
	計	57	50	12	13	7	1	16	12	168

(6) 小児慢性特定疾患児手帳（ひまわり手帳）交付事業 (平成23年度)

疾患名	件数	疾患名	件数
悪性新生物	3	糖尿病	0
慢性腎疾患	4	先天性代謝異常	0
慢性呼吸器疾患	1	血友病等血液・免疫疾患	3
慢性心疾患	2	神経・筋疾患	1
内分泌疾患	4	慢性消化器疾患	1
膠原病	6	計	25

(7) 先天性代謝異常検査等実施状況 (平成23年度)

区分	先天性代謝異常検査					先天性副腎過形成症				先天性甲状腺機能低下症			
	件数	正 常	疑 陽 性	判 定 不 能	要 精 檢	件数	正 常	疑 陽 性	要 精 檢	件数	正 常	疑 陽 性	要 精 檢
十和田市	450	450	2	0	0	449	446	0	3	459	448	11	0
三沢市	346	343	3	0	0	347	345	2	0	345	344	1	0
野辺地町	85	85	0	0	0	85	85	0	0	88	84	3	1
七戸町	98	98	0	0	0	98	97	1	0	100	98	2	0
六戸町	72	72	0	0	0	73	72	1	0	72	72	0	0
横浜町	39	39	0	0	0	39	39	0	0	39	38	0	1
東北町	124	124	0	0	0	124	124	0	0	124	124	0	0
六ヶ所村	99	99	0	0	0	100	99	1	0	101	101	0	0
計	1,313	1,310	5	0	0	1,315	1,307	5	3	1,328	1,309	17	2

(8) 妊婦連絡票実施状況

(平成23年度)

市町村名	妊娠届出数 A	妊婦連絡票提出数 B (B/A)	妊婦保健指導報告書発行数 C (C/B)	指導週数別				指導方法別				要連絡・指導 妊産婦連絡票 L	内訳		妊婦連絡票の提出はないが、保健指導を実施した数 O (O/A)	
				～ 11週 d (d/C)	12 ～ 19週 e (e/C)	20 ～ 27週 f (f/C)	28 週～ g (g/C)	窓 口 h (h/C)	訪 問 i (i/C)	電 話 j (j/C)	そ の 他 k (k/C)		受 理 数	妊婦 m (m/L)		産婦 n (n/L)
十和田市	459	456 (99.3)	456 (100.0)	376 (82.5)	73 (16.0)	3 (0.7)	4 (0.9)	456 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	18	6 (33.3)	12 (66.7)	3 (0.7)	
三沢市	419	406 (96.9)	406 (100.0)	364 (89.7)	35 (8.6)	5 (1.2)	2 (0.5)	406 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	31	6 (19.4)	25 (80.6)	41 (9.8)	
野辺地町	96	96 (100.0)	96 (100.0)	81 (84.4)	12 (12.5)	1 (1.0)	2 (2.1)	96 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7	2 (28.6)	5 (71.4)	0 (0.0)	
七戸町	95	95 (100.0)	95 (100.0)	79 (83.2)	15 (15.8)	0 (0.0)	1 (1.1)	95 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5	1 (20.0)	4 (80.0)	0 (0.0)	
六戸町	84	84 (100.0)	84 (100.0)	75 (89.3)	9 (10.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	78 (92.9)	1 (1.2)	5 (6.0)	0 (0.0)	5	1 (20.0)	4 (80.0)	0 (0.0)	
横浜町	35	35 (100.0)	35 (100.0)	25 (71.4)	9 (25.7)	0 (0.0)	1 (2.9)	35 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
東北町	120	120 (100.0)	120 (100.0)	102 (85.0)	15 (12.5)	3 (2.5)	0 (0.0)	120 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	13	6 (46.2)	7 (53.8)	1 (0.8)	
六ヶ所村	109	107 (98.2)	107 (100.0)	91 (85.0)	15 (14.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	107 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6	1 (16.7)	5 (83.3)	2 (1.8)	
計	1,417	1,399 (98.7)	1,399 (100.0)	1,193 (85.3)	183 (13.1)	12 (0.9)	11 (0.7)	1,393 (99.6)	1 (0.1)	5 (0.4)	0 (0.0)	86	24 (27.9)	62 (72.1)	47 (3.3)	

()は%

(9) 母子保健ネットワーク会議等 —妊産婦支援体制整備事業—

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点から、地域養育支援体制を整備する。

ア 母子保健ネットワーク会議

保健・医療・福祉及び教育等関係者等により、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に係る協議を行う。

回	期 日	場 所	出席者	内 容
1回目	平成23年 12月6日	七戸庁舎	市町村保健師10名 保健所2名 児童相談所1名	1 母子保健における虐待防止活動に関する協議及び情報交換 2 1歳6ヶ月児及び3歳児精神発達健康診査について
2回目	平成24年 2月16日	上十三保健所	医療機関5名 市町村保健師等21名 保健所7名	1 三沢市立三沢病院からEPDSの実施状況報告 2 意見交換 妊産婦情報共有システム 子ども虐待による死亡事例等の検証結果 3 その他 乳児死亡状況 虐待防止研修伝達

イ 市町村毎の母子保健担当者打ち合わせ（東日本大震災による業務調整で母子保健担当者に変更のあった市町村）

市町村	日程	内 容
十和田市	平成23年7月6日	1 平成23度の保健所・市町村母子保健事業 2 妊産婦の喫煙・再喫煙の予防
六戸町	平成23年7月14日	3 妊産婦連絡票の見直しに係る意見交換 4 エジンバラ産後うつ病スクリーニング及びカンファレンスの実施状況について
東北町	平成23年7月26日	5 情報提供

ウ 平成23年度開催会議への支援

会議名	期 日	テーマ
十和田市健康づくり推進協議会 母子保健部会	平成23年10月7日	2歳6ヶ月児健康診査について
七戸町母子保健ネットワーク会議	平成24年2月9日	自己肯定感を高める対応について

エ 医療機関との連携（医療機関主催）

期 日	医療機関名	対象者数	内 容	参加者数
平成23年5月17日	県立中央病院 NICU	1名	・周産期母子医療センター情報室からの連絡により、NICUに入院し退院予定の新生児について、今後の方向等検討した。	保健所1名、
平成23年6月7日		1名		保健所1名
平成23年8月9日		1名		七戸町1名
平成23年9月6日		1名		十和田市1名
平成23年10月4日		1名		保健所1名、東北町1名
平成23年12月6日		1名		保健所1名、六ヶ所村1名
平成24年3月6日		1名		保健所1名

（10）産後うつ病の予防対策推進事業 —妊産婦支援体制整備事業—

乳児を抱える母親のメンタルヘルスに注意を向け、母親のメンタル面へのサポート体制を構築する。
また、母子保健サービスの中に「虐待予防」の視点を盛り込み、市町村母子保健関係者等の虐待予防に関する資質の向上を図った。

ア 医療機関へのエジンバラ産後うつ病スクリーニングの活用と普及

期 日	場 所	参加者数	内 容
平成24年2月16日	上十三保健所 (母子保健ネットワーク会議に於いて)	医療機関（三沢病院、十和田市立中央病院、藤井産婦人科、さとうクリニック）5名 市町村（保健師、看護師）21名 保健所7名	三沢市立三沢病院から実施状況について報告 保健所から要連絡・指導妊産婦連絡票の状況報告 各医療機関での課題
平成24年3月13日	さとうクリニック	さとうクリニック助産師等2名、七戸町・東北町保健師2名、保健所3名	講義 母親のメンタルヘルスと基礎知識 3つの質問紙の実際と活用方法 意見交換

イ EPDS等妊産婦のカンファレンス

日 時	参 集 者	検 討 内 容
平成23年4月6日(水) 上十三保健所	健康増進課保健師3名	うつ病の母への対応
平成23年8月2日(火) 上十三保健所	健康増進課保健師3名	EPDS 高得点者17点(1件)
平成23年8月24日(水) 上十三保健所	健康増進課保健師4名	EPDS 高得点者18点(1件)
平成23年9月6日(火) 上十三保健所	健康増進課保健師4名	EPDS 高得点者19点(1件)
平成24年2月24日(金) 上十三保健所	健康増進課保健師5名	EPDS 高得点者11点(1件)

(11) 乳幼児の虐待予防に関すること

要保護児童の早期発見や適切な保護並びに要保護児童及びその家族への適切な支援をする。また、特定妊婦の早期発見をし、適切な支援をする。

ア 市町村要保護児童対策協議会・ケース検討会

市町村名	代表者会議	実務者会議・ケース検討会	内 容
十和田市	平成23年5月23日	平成23年6月1日	精神疾患を抱えて育児中の母
		平成23年7月15日	住所は十和田市、居住は横浜町
		平成23年10月28日	研修会
三沢市	平成23年10月27日	なし	
野辺地町	包括ケア会議	なし	
七戸町	平成23年5月11日	なし	
六戸町	平成24年1月31日	なし	
横浜町	平成23年12月20日	平成23年7月11日	実務者会議
		平成23年7月15日	住所は十和田市、居住は横浜町
		平成23年11月11日	実務者会議
		平成24年2月24日	実務者会議
東北町	平成23年6月28日	平成23年10月27日	研修会
六ヶ所村	平成23年11月4日	平成23年5月13日	知的障害をもつ産婦

イ 虐待（疑）相談事例のカンファレンス

日 時	参 集 者	検 討 内 容
平成23年5月13日(金) 青森県立病院	市町村保健師、七戸児童相談所、県病 医師・看護師・佐藤専門員、上十三保健 所	知的障害をもつ母への対応
平成23年7月4日(月) 八戸市民病院	市町村保健師、八戸市民病院産婦人科 病棟看護師長、上十三保健所	拒食症の産婦への対応
平成23年7月15日(金) 七戸児童相談所	市町村保健師、婦人相談員、児童相談所、 上十三保健所	2つの市町にまたがる問題事例
平成24年2月17日(金) 上十三保健所	市町村保健師2、上十三保健所1	出産病院が決まらない妊婦

(12) 女性の健康支援事業

ア 女性の健康相談

(ア) 開催日：月1回（毎月第3火曜日） 受付時間：10:00～10:30

(イ) 場 所：上十三保健所 第1相談室

(ウ) 担当者：保健師

相談件数	来所相談 実人員10名(延10件) 〈内訳〉 定 期 1名(延1件) 随 時 3名(延3件) 電話相談 実人員 6名(延6件)
相談内容	不妊に関する相談 6件 婦人科疾患、更年期障害に関する相談 2件 メンタルケア 1件 その他、性感染症を含め女性の心身の健康に関する一般的な相談 1件

イ 特定不妊治療助成事業

(ア) 特定不妊治療費助成事業申請者 48名(延78名)

(イ) 不妊専門相談センター利用者 1名

3 歯科保健事業関係

(1) 母と子のよい歯のコンクール実施状況

青森県歯科医師会と共催事業。健康な歯をもつ母と子を表彰し、幼児や父母及び地域社会の歯科保健への関心を高め、本県の歯科保健の推進を図ることを目的に実施した。

期 日	平成 23 年 6 月 4 日（土）13：00～15：00
場 所	十和田市イオンスーパーセンター十和田店
対 象	79組 受診者：18組
講 評	歯科医師会上十三支部会長 沼山 助直 氏

審査の結果、三沢市の母子1組を県に推薦（第二次選考）した。

(2) 上十三地域歯科保健推進委員会

期 日	平成 24 年 2 月 23 日（木）
場 所	保健所 2 階会議室
出席者	27名 （歯科医師3、歯科衛生士1、産業保健センター1、養護教員1知的障害者福祉協会1、介護支援専門員1、保育所等関係者1、食生活改善推進員1、保健協力員1、労働基準協会1、市町村関係者8、保健所関係者7）
内 容	1 上十三地域の歯科保健関係統計について 2 平成23年度歯科保健活動状況について （1）ライフサイクルに沿った行動目標毎に各団体の取り組みについて情報交換した。 （2）歯科医、歯科衛生士から専門的な立場からの助言を聞くことができた。 （3）その他取り組みについて 3 その他

4 栄養改善指導事業関係

(1) 給食施設栄養管理指導事業

健康増進法に基づき、給食施設の栄養管理の実施について必要な指導及び助言を行い、喫食者の健康増進に寄与する目的で巡回指導及び研修会を行った。

ア 巡回指導

	特定給食施設		特定多数人に対して継続して食事を供給する施設 (特定給食施設を除く)		計		総計
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無	
指導件数	18	9	17	18	35	27	62
対象給食施設数	45	12	51	27	96	39	135

イ 研修会

期 日	場 所	対 象	参加者数	内 容
平成 23 年 6 月 15 日 6 月 29 日	十和田市 東公民館	給食施設の 栄養士・調 理師等	201 名	1 講義 「食中毒予防について」 上十三保健所 大見丈治 「施設の衛生管理について」 上十三保健所 高橋むつみ 「給食施設における栄養管理について」 上十三保健所 船渡めぐみ 2 情報提供 「喫煙対策について」 上十三保健所 木村梨沙
平成 23 年 6 月 17 日	三沢市総合 福祉センター	三沢地区保 育園給食担 当者	23 名	【講義】 「食中毒予防について」 「施設の衛生管理について」 上十三保健所 大見丈治 「給食施設における栄養管理について」 上十三保健所 船渡めぐみ
平成 23 年 6 月 25 日	横浜町ふれあい センター	上北中北部 保育研究会 給食部会員	25 名	【講義】 「保育所給食における離乳食の提供について」 上十三保健所 船渡めぐみ
平成 23 年 10 月 31 日	横浜町ふれあい センター	上北中北部 保育研究会 給食部会員	25 名	【講義】 「災害時の給食について」 上十三保健所 船渡めぐみ

(2) 栄養表示、虚偽誇大表示に関する指導

健康増進法第31条、32条の2に基づき、食品への不適切な表示に対し食品製造業者等に指導を実施した。

- ア 特定用途食品表示確認：1件
- イ 栄養表示指導：18件
- ウ 虚偽・誇大表示指導：14件
- エ 表示制度の研修会：依頼なし

(3) 食生活改善推進員の育成

管内の食生活改善推進員会の育成を支援し、活動の推進を図った。

管内市町村食生活改善推進員数 (平成23年5月10日現在)

市町村名	会 員 数	市町村名	会 員 数
十和田市	225	六戸町	47
三沢市	125	横浜町	20
野辺地町	32	東北町	80
七戸町	50	六ヶ所村	46
		計	625名

(4) 市町村栄養改善業務支援事業

各市町村の栄養改善業務の推進を図ることを目的に、連絡調整会議及び研修会を開催した。

ア 会議及び研修会

開催月日	開催場所	参加者数	内 容
平成24年 2月28日	上十三保健所	8名	〈会議〉 1 報告 「給食施設巡回指導の結果について ～市町村と保健所の栄養改善業務の連携～」 2 協議 「市町村における災害時等の対応について」 3 連絡 (1)食生活改善推進員関係事項について (2)管理栄養士学生実習について
平成24年 2月28日	上十三保健所	6名	〈研修会〉 【演習】事業計画及び評価票の作成 テーマ ～1歳6ヶ月児健康診査の計画と評価～

イ 市町村への支援

(ア) 食生活改善推進員会研修会等の講師

- 十和田市：生活衛生課（1回）
- 三沢市：所長（1回）、生活衛生課（1回）
- 野辺地町：東山課長（2回）、生活衛生課（1回）
- 六戸町：船渡2回、生活衛生課（1回）

(イ) 食生活改善推進員会総会の出席

- 十和田市、三沢市、六戸町

(ウ) 食育推進計画への支援

- 十和田市食育推進市民会議出席：管理栄養士1回

(5) 外食栄養成分表示店定着促進事業

外食の利用回数が年々増加していることから、外食利用者が栄養情報に基づく適切な料理選択が行えるように外食栄養成分表示店を拡大し、食生活を要因とする生活習慣病予防を図るものである。

平成23年度の表示店認定マーク交付数は、0件であった。

表示店の市町村別内訳（平成23年度末現在 延べ27件）

十和田市	9	七戸町	3
三沢市	11	六戸町	1
野辺地町	1	東北町	2

(6) 健康・栄養調査

ア 健康・栄養調査

国民の身体状況、栄養摂取量及び生活習慣等の状況を明らかにし、健康増進対策等に必要な基礎資料を得ることを目的として、国民生活基礎調査の単位区からの無作為抽出により選定された地区を国の委託事業として実施する調査である。なお、平成23年度は歯科疾患実態調査も実施した。

【調査地区】十和田市大字三本木字一本木沢

【調査世帯】20世帯

【調査内容】

調査名	内容	実施日
栄養摂取状況調査	食事内容(種類と量)の記入	平成23年11月25日
生活習慣調査	生活習慣に関するアンケートの記入	平成23年11月25日
身体状況調査	調査世帯員の身体測定等	平成23年11月28日
歯科疾患実態調査	調査世帯員の口腔内審査	平成23年11月28日

イ 県民健康・栄養調査

県民の身体及び口腔の状況、栄養摂取状況等を把握し、県及び市町村における健康づくり関係事業等の基礎資料を得るために実施する調査であり平成22年度に実施。平成23年度は、本庁の進捗管理により県内全保健所で調査データを集計し報告書の作成作業を行った。

5 精神保健福祉関係

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者の市町村別・入院通院状況

(平成23年度末)

医療区分 市町村名	総数		入院				通院	その他
			小計	措置 置院	医療保 護入院	その他		
十和田市	男	463	76	2	74		387	
	女	573	122	0	122		451	
	計	1,036	198	2	196	0	838	0
三沢市	男	173	21	1	20		152	
	女	232	44	1	43		188	
	計	405	65	2	63	0	340	0
野辺地町	男	75	16	0	16		59	
	女	94	12	0	12		82	
	計	169	28	0	28	0	141	0
七戸町	男	95	22	0	22		73	
	女	128	25	0	25		103	
	計	223	47	0	47	0	176	0
六戸町	男	64	12	1	11		52	
	女	68	22	0	22		46	
	計	132	34	1	33	0	98	0
横浜町	男	27	5	0	5		22	
	女	31	5	0	5		26	
	計	58	10	0	10	0	48	0
東北町	男	99	11	0	11		88	
	女	127	14	0	14		113	
	計	226	25	0	25	0	201	0
六ヶ所村	男	35	5	0	5		30	
	女	37	5	0	5		32	
	計	72	10	0	10	0	62	0
合計	男	1,031	168	4	164		863	
	女	1,290	249	1	248		1,041	
	計	2,321	417	5	412	0	1,904	0

イ 精神障害者申請等処理状況

(平成23年度)

申請等別			指定医に よる診察 件数	措置	非措置	非措置者の状況	
申請	通報	計				入院	非入院
1	21	22	7	5	2	1	1

ウ 管内精神病院入院状況

(平成23年度末)

	精神総病床数	年度末現在入院患者数	年度末現在措置患者数
十和田市立中央病院	50	29	1
十和田済誠会病院	270	228	1
高松病院	239	236	0
三沢聖心会病院	140	103	0
計	699	596	2

エ 精神科救急医療システム利用状況

(平成23年度末)

十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	不明	計
87	19	9	20	7	1	9	4	16	1	173

(2) 精神障害者保健福祉手帳所持状況

市町村別手帳所持者数

(平成23年度末)

	手帳所持者 総数	手帳所持者等級別内訳		
		1級	2級	3級
十和田市	599	205	305	89
三沢市	233	116	99	18
野辺地町	88	37	44	7
七戸町	111	46	57	8
六戸町	76	33	33	10
横浜町	34	17	13	4
東北町	122	50	61	11
六ヶ所村	49	22	23	4
計	1,312	526	635	151

(3) 精神保健福祉相談状況

開設状況：年12回(偶数月第3水曜日、奇数月第4水曜日)

嘱託医：十和田市立中央病院メンタルヘルス科診療部長、高松病院副院長

ア 相談件数

(平成23年度)

	総件数	再 掲		
		定期	随時	電話
実数	134	12	54	68
延数	254	12	92	150

イ 目的別利用状況(延べ数)

(平成23年度)

相談内容	①受診・入院について	②通院・服薬について	③生活指導について	④経済的問題	⑤性格・行動上のこと	⑥患者への接し方について	⑦アルコールについて	⑧薬物について	⑨人間関係について	⑩施設入所について	⑪社会復帰について	⑫福祉サービスの利用について	⑬ひきこもり	⑭その他	計
定期	5	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	4	12
随時	31	3	1	1	5	4	5	0	9	1	25	0	0	7	92

ウ 市町村別件数（延人数）（平成23年度）

	十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村	管外	計
定期	8	2	0	0	0	0	0	0	2	12
随時	60	4	2	9	9	0	0	8	0	92

(4) 訪問指導状況（平成23年度）

事業区分	保健師（相談員含む）				その他の職員				合計			
	一般	職親事業	社会復帰	計	一般	職親事業	社会復帰	計	一般	職親事業	社会復帰	計
実人数	30	5	0	35	0	0	0	0	30	5	0	35
延人数	51	8	0	59	0	0	0	0	51	8	0	59

(5) 社会適応訓練事業（職親制度）実施状況

ア 管内登録協力事業所

23年度末現在総数	（新規登録数）	職種内訳
37ヶ所	2ヶ所	クリーニング業：3、食品製造販売業：6、小売業：4、畜産業：1、医療業：1、飲食業：6、農業：4、福祉関係：6、その他：6

イ 23年度実施状況

利用事業所	訓練者（うち新規）	訓練者の転帰
4ヶ所	6名（1名）	継続：2名
関係機関との連絡状況	協力事業所訪問	
	15回	

(6) 普及啓発活動

平成23年度は、「心の健康づくり事業」、「地域特性を踏まえた自殺対策力強化事業」等により住民や関係者を対象とした健康教室等を実施した。

(実施状況)

	場 所	期 日	テ ー マ	講 師	対 象 者	参 加 者 数
こころの健康づくり事業	東北町中央公民館	平成23年 6月23日	あなたの心は元気ですか ～うつ病について～	上十三保健所 主査 西谷 楠緒子	東北建設企業グループ従業員	150
	特別養護老人ホーム一葉園	平成23年 9月7日	うつ病について知ろう	上十三保健所 主査 西谷 楠緒子	一葉園施設職員	22
	十和田地域広域事務組合消防本部庁舎	平成23年 9月26日	職場のメンタルヘルス	上十三保健所 所長 宮川 隆美 主査 西谷 楠緒子	十和田地域事務組合消防職員	50
	十和田地域広域事務組合消防本部庁舎	平成23年 10月3日	職場のメンタルヘルス	上十三保健所 所長 宮川 隆美 主査 西谷 楠緒子	十和田地域事務組合消防職員	50
	三沢市総合社会福祉センター	平成23年 11月29日	元気で長生き老後を楽しく(認知症予防)	上十三保健所 所長 宮川 隆美	ほのぼのの交流員等	80
地域特性を踏まえた自殺対策力強化事業	上十三保健所	平成23年 7月21日	朗読劇のシナリオの提供・上演 「借金問題は解決できません～悩むのは今日で終わりにしましょう～」 (管内保健協力員連絡会総会代表者研修会において)	管内保健協力員	管内保健協力員	25
	泊ふれあいセンター	平成23年 11月11日	朗読劇のシナリオの提供・上演 「借金問題は解決できません～悩むのは今日で終わりにしましょう～」	六ヶ所村保健協力員	・泊地区一般住民 ・六ヶ所村保健協力員	25

(7) 組織育成

精神障害者家族会、回復者クラブ、精神保健福祉ボランティアの育成支援を行った。

ア 精神障害者家族会（平成23年度活動状況）

事務局	家族会	会員数	活動内容等	作業所等運営 (名称)
野辺地町	野辺地町精神障害者家族懇談会	5	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 ・学習会 ・会員間の交流 ・作業所等の運営 ・当事者の会やデイケアへの協力 ・管内合同の学習・交流会 (事務局を各家族会が担当)	
横浜町	横浜町精神障害者家族懇談会	4		
七戸町	よつばの会	8		
東北町	つつじ家族会	8		つつじ作業所
六戸町	山ざくらの会	7		

家族会	さつき家族会	8		福祉法人通所授産施設 「ワークハウスさつき」
	とわだ家族会	11		地域活動支援センター 「ワークハウスとわだ」

イ 精神障害者家族会活動への支援

	回数	内容
とわだ家族会 (十和田市)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・総会・第1回学習会出席 ・ワークハウスとわだ運営会議に1回出席
よつばの会 (七戸町)	0	
山ざくらの会 (六戸町)	1	「家族の役割について」の学習（総会）
つつじ家族会 (東北町)	1	つつじ作業所第1回運営委員会に出席
管内家族学習 交流会	5	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度事務局は、とわだ家族会（十和田市）が担当 ・事前打合せ1回、実行委員会 3回出席 ・学習交流会（平成23年9月26日；十和田市保健センター） ・テーマ：「今日の出会いを明日からの一歩に」 内容；講演会「共に生き、共に支え合える地域づくりを目指して」 講師 NPO法人あおもりのちの電話 理事長 石川徹一 情報交換会（家族同士のグループワーク、家族会の活動紹介や情報交換） レクリエーション（当事者が参加、十和田済誠会病院の作業療法士による） ゲーム（合同）で交流した。

ウ 回復者クラブ

名 称	三木野クラブ（十和田）	きざきのクラブ（三沢）
開催回数	月 1 回 年 12 回	月 2 回 年 24 回
会員数	10 名	4 名

エ 精神保健福祉ボランティア

名 称	会員数	開催回数	活動内容
駒の会 （十和田市）	18 名	年 12 回	<ul style="list-style-type: none"> ・自主運営 ・定例会：月 1 回 ・自主活動：「サロンおあしす」（月 1 回）を開設 ・有志により、心のひろば「ルピナス」（年 18 回）開設 ・三木野クラブ（回復者クラブ）（年 10 回）活動協力 ・地域活動支援センター（ワークハウスとわだ）への協力（年 2 回） ※平成 10 年 4 月に看護ボランティアとして組織化。平成 15 年 4 月から精神保健福祉ボランティアとして登録。
さつき友の会 （三沢市）	13 名	年 2 回	<ul style="list-style-type: none"> ・自主運営 ・自主活動：「サロンひだまり」（年 11 回）を開設 ・きざきのクラブ（回復者クラブ）（年 12 回）活動協力 ・小規模作業所への協力 ※平成 14 年 4 月に組織化

オ ボランティア、民間団体活動支援事業

上十三地区精神障害者家族学習交流会

開催月日：平成 23 年 9 月 26 日

参加状況：131 名

会 場：十和田市保健センター

支援内容：実行委員として、企画・実践・評価に参画

（ 8 ） 会議等及び研修

ア 精神保健福祉企画会議（所内）

期 日	開催内容	出席者
平成 23 年 6 月 16 日	平成 23 年度精神保健福祉事業活動計画	保健総室長、次長、健康増進課長、精神保健福祉担当保健師及び事務担当者、健康増進課員
平成 24 年 3 月 14 日	平成 23 年度精神保健福祉事業活動評価	

イ 関係者連絡会議

会議名	期 日	開催内容	出席者
精神障害者社会復帰支援協議会	平成 24 年 2 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会適応訓練事業の実施評価及び新規事業所の協議 ・「精神障害者の社会復帰に向けて」のテーマで、十和田市立中央病院メンタルヘルス科診療部長竹内淳子氏を助言者に意見交換を実施。 	精神科医師、医療機関 PSW、社会復帰施設、職業安定所、協力事業所、家族会、市町村担当者
上十三地域精神科救急医療システム連絡調整委員会	平成 24 年 1 月 30 日	精神科救急医療システムの運営状況について報告し、円滑な運営に向けて協議。	連絡調整委員会委員 (上十三医師会、救急医療施設、警察署、消防本部、地域家族会)市町村担当者
管内精神保健福祉担当者会議	平成 23 年 8 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉手帳及び自立支援医療の事務処理の留意点の周知。 ・精神保健福祉活動に関する情報共有及び情報交換。 	市町村保健師・事務担当者 保健所保健師・事務担当者
上十三地域自殺総合対策ネットワーク会議	平成 24 年 1 月 16 日	<p>「自殺総合対策のための地域づくり」～経済問題とこころの悩み相談の連携をはかる～をメインテーマに実施。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告：上十三地域の自殺の現状について ・話題提供：「生活と健康をつなぐ法律相談事業から ～連携事例をとおして～」 話題提供者：青森県障害福祉課こころの健康支援専門員 上村昭子氏 ・意見交換：関係機関との連携事例について、各機関の自殺対策の取組状況について 	各関係機関 27 機関から実務者レベルの代表者 【内訳】 ・地域保健医療福祉関係 17 機関 (精神科医療機関、民生児童委員会、社会福祉協議会、市民ボランティア、市町村、福祉事務所等) ・職域関係 10 機関 (労働基準監督署、労働基準協会、ハローワーク、地域産業保健センター、商工会、司法書士会、弁護士会、農協、漁協等) 出席者数 37 名
精神科医と一般かかりつけ医の連絡会	平成 24 年 1 月 6 日	事前打ち合わせ会	上十三医師会長
	平成 24 年 1 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の説明及び協力依頼 ・参集者等の連絡会の持ち方について 	上十三医師会十和田地区医師会長
	平成 24 年 2 月 20 日	うつ病患者を効果的に適切な治療に結びつけるために、現在の連携状況、今後の連携等について意見交換を実施。	精神科医師 4 名 一般かかりつけ医 4 名 保健総室職員

ウ ケース会議等

会議名	場 所	対応状況	備 考
精神障害者ケース検討会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三沢市 ・ 野辺地町 ・ 七戸町 ・ 六戸町 ・ 東北町 ・ 六ヶ所村 ・ 十和田済誠会病院 	<p><ケース検討会の開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三沢市 7回 ・ 野辺地町 3回 ・ 七戸町 1回 ・ 六戸町 1回 ・ 東北町 4回 ・ 六ヶ所村 2回 ・ 十和田済誠会病院 1回 	<p>関係者間での処遇困難ケースへの支援について検討。 (三沢市ケアマネジメント会議含む)</p>
アルコール保健普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七戸町 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケース検討会の開催なし ・ アルコール依存症患者に対して、町保健師と同行訪問を実施した。 	

(9) 精神障害者地域移行支援特別対策事業

精神科病院に入院している精神障害者のうち、受入れ条件が整えば退院可能である者に対し、円滑な地域移行を図るための支援を行い精神障害者の社会的自立を図ることを目的に、19年度から開始した。

ア 受託事業所：地域活動支援センター「アセンドハウス」

イ 利用者：なし

ウ 精神障害者社会復帰支援協議会において、実施に必要な協議及び検討を行う。

6 難病関係

(1) 特定疾患治療研究事業

原因が不明で治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち下記の特特定疾患については、治療が極めて困難であり、かつ、その医療費も高額であることから、医療の確立、普及を図るとともに医療費の自己負担軽減を図ることを目的としている。

平成21年10月1日より11疾患が追加され、対象疾患が56疾患になった。

(追加疾患名：疾患番号46～56)

ア 特定疾患医療受給者状況（市町村別）

(平成24年3月31日現在)

疾患番号	疾患名	管内計	市町村							
			十和田市	三沢市	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町	六ヶ所村
1	ベーチェット病	24	5	3	8	1	1		6	
2	多発性硬化症	19	4	9	2	2	1		1	
3	重症筋無力症	23	9	9	1		2			2
4	全身性エリテマトーデス	69	24	14	5	7	6	2	2	9
5	スモン									
6	再生不良性貧血	14	3	1	1	4	1	1	2	1
7	サルコイドーシス	25	12	2	3	2		1	4	1
8	筋萎縮性側索硬化症	10	2	2	3				3	
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	23	6	7	1	3	1	2	3	
10	特発性血小板減少性紫斑病	43	14	13	2	4	3	1	6	
11	結節性動脈周囲炎（顕微鏡的多発血管炎）	7	3	2					1	1
12	潰瘍性大腸炎	147	53	26	15	12	6	5	22	8
13	大動脈炎症候群	8	1	4			1		1	1
14	ビュルガー病	15	5	7	1		1			1
15	天疱瘡	9	2	2		3	1		1	
16	脊髄小脳変性症	161	95	13	8	21	7	2	13	2
17	クローン病	48	14	8	5	7	5	2	3	4
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1						1		
19	悪性関節リウマチ	7	3	1	1	1		1		
20	パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）	177	59	38	20	14	9	6	20	11
21	アミロイドーシス	3	1				1		1	
22	後縦靭帯骨化症	69	25	17	5	4	4	3	7	4
23	ハンチントン病	2		2						
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	8	2	3	3					
25	ウェゲナー肉芽腫症	1	1							
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症	14	9	3					1	1
27	多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）	13	1	3	3		1	1	2	2
28	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）									
29	膿疱性乾癬	4	2	1	1					
30	広範脊柱管狭窄症	6	1	1		1			3	
31	原発性胆汁性肝硬変	28	9	6	6	2	1		3	1
32	重症急性膵炎	1	1							
33	特発性大腿骨頭壊死症	30	11	3	3	6	2	1	3	1
34	混合性結合組織病	16	6	5	1	1			1	2
35	原発性免疫不全症候群	1			1					
36	特発性間質性肺炎	6		5	1					

37	網膜色素変性症	21	5	10		2	1		1	2
38	プリオン病	1		1						
39	肺動脈性肺高血圧症	3	1		2					
40	神経繊維腫症	5	1						3	1
41	亜急性硬化性全脳炎									
42	バット・キアリ (Budd-Chiari) 症候群									
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症									
44	ライソゾーム病 (ファブリー [Fabry] 病含む)									
45	副腎白質ジストロフィー									
46	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)									
47	脊髄性筋委縮症									
48	球脊髄性筋委縮症									
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5	3		2					
50	肥大型心筋症	7	5			1			1	
51	拘束型心筋症									
52	ミトコンドリア病	1	1							
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)									
54	重症多形滲出性紅斑 (急性期)									
55	黄色靭帯骨化症	1	1							
56	間脳下垂体機能障害 (PRL 分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性 TSH 分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	18	5	3	4	1			5	
合 計		1,094	405	224	108	99	55	29	119	55

イ 特定疾患医療受給者状況（年齢別）

（平成24年3月31日現在）

疾患番号	疾患名	年齢階層	合計	0	10	20	30	40	50	60	70
				9	19	29	39	49	59	69	歳以上
1	ベーチェット病		24			2	5	2	6	4	5
2	多発性硬化症		19			5	5	2	3	1	3
3	重症筋無力症		23		1	2	1	5	5	3	6
4	全身性エリテマトーデス		69		4	7	16	10	18	9	5
5	スモン										
6	再生不良性貧血		14			1	2		3	3	5
7	サルコイドーシス		25			3	3	3	6	6	4
8	筋萎縮性側索硬化症		10							7	3
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎		23			1	2	2	6	8	4
10	特発性血小板減少性紫斑病		43	2	1	4	3	8	5	9	11
11	結節性動脈周囲炎（顕微鏡的多発血管炎）		7				3		1		3
12	潰瘍性大腸炎		147		5	14	34	26	30	20	18
13	大動脈炎症候群		8			1	1	1	3		2
14	ビュルガー病		15					4	8	1	2
15	天疱瘡		9						3	3	3
16	脊髄小脳変性症		161		1		2	3	12	51	92
17	クローン病		48		3	13	10	9	6	5	2
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎		1								1
19	悪性関節リウマチ		7				2	1		2	2
20	パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病）		177					2	10	32	133
21	アミロイドーシス		3						2		1
22	後縦靭帯骨化症		69				3	5	8	17	36
23	ハンチントン病		2					1		1	
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）		8			3		3	2		
25	ウェゲナー肉芽腫症		1				1				
26	特発性拡張型（うっ血型）心筋症		14					1	4	5	4
27	多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）		13					1	2	4	6
28	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）										
29	膿疱性乾癬		4					2		2	
30	広範脊柱管狭窄症		6				1		2		3
31	原発性胆汁性肝硬変		28						7	8	13
32	重症急性膵炎		1		1						
33	特発性大腿骨頭壊死症		30			2	6	4	10	3	5
34	混合性結合組織病		16				5	4	3	4	
35	原発性免疫不全症候群		1				1				
36	特発性間質性肺炎		6							2	4
37	網膜色素変性症		21			1	2	1	1	6	10
38	プリオン病		1								1
39	肺動脈性肺高血圧症		3					2			1
40	神経繊維腫症		5		1	1		2	1		
41	亜急性硬化性全脳炎										
42	バット・キアリ（Budd-Chiari）症候群										
43	慢性血栓性肺高血圧症										
44	ライソゾーム病（ファブリー[Fabry]病含む）										
45	副腎白質ジストロフィー										
46	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）										
47	脊髄性筋委縮症										
48	球脊髄性筋委縮症										

49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5					1		3	1
50	肥大型心筋症	7					2	2	2	1
51	拘束型心筋症									
52	ミトコンドリア病	1							1	
53	リンパ脈管筋腫症（LAM）									
54	重症多形滲出性紅斑（急性期）									
55	黄色靱帯骨化症	1							1	
56	間脳下垂体機能障害（PRL 分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性 TSH 分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症）	18		2	3	5	4	1	1	2
合 計		1,094	2	19	63	113	111	170	224	392

(2) 難病特別対策推進事業

目的：難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の不安や悩みに対し、専門医等による指導・助言などを行う医療相談を実施し、また、医療相談に参加できない要支援難病患者やその家族に対しては、保健師や看護師等の相談員による訪問相談を実施することにより、在宅医療の推進を図ることを目的とする。

ア 難病患者地域支援対策推進事業

(ア) 難病患者等相談事業

a 医療相談等

災害支援の関係で業務の効率、事業優先を考慮し、特定疾患別の医療相談を取りやめ、上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議と併催や家庭訪問による検討会を行った。

回	期 日	場 所	内 容	参加者数
1	平成 23 年 12 月 14 日	十和田市総合体育 センター(研修室)	1 話題提供 ①災害停電時の対応について 川上在宅介護支援相談所 介護支援専門員 横浜 百合子氏 ②野辺地町災害支援ネットワークの取り組み について 野辺地町健康増進センター 所長 濱中 理智子氏 2 意見交換 「災害時対応を振り返り、見えてきた課題と今後の対応」 ～震災時における難病患者への支援を通して～	委員 23名 オブザーバー 4名 事務局 12名
2	平成 24 年 1 月 19 日	A L S 患者宅 (野辺地町)	家庭訪問による災害対応について検討会を実施 患者家族、主治医であるひさち内科クリニック引 地基文氏と保健所保健師が参加し、長期停電での 在宅医療が困難となり、青森市まで緊急搬送した 際、道路が寸断した場合どうするか対応を検討し た。	患者家族 1組

b 訪問相談（難病患者等訪問相談員による訪問相談）

訪問相談 件 数	疾 患 群 別 内 訳						
	神経・筋肉 疾患	循環・呼吸 器疾患	骨・関節系 疾患	膠原病	消化器 疾患	血液疾患	皮膚疾患
(16) 40	(14) 36	(1) 2	(1) 2	0	0	0	0

() 内は実数

(3) 保健師による訪問指導

訪問件数	疾患別内訳						
	筋萎縮性側索硬化症	脊髄小脳変性症	パーキンソン病	後縦靭帯骨化症	多系統萎縮症	ハンチントン病	その他
(8)	(3)	(3)	(0)	(0)	(0)	(2)	(0)
11	5	4	0	0	0	2	0

() 内は実数

(4) 在宅重症難病患者家族支援事業

ア 目的:在宅療養を行っている重症難病患者(人工呼吸器を装着した筋萎縮性側索硬化症の患者をいう。)を常時介護している家族が、社会的理由が生じた場合並びに休息をとる場合に看護人が家族に代わって介護することにより、家族の社会参加を促すとともに、ALS患者の在宅療養の環境を整え、患者、家族の生活の質の維持向上を図ることを目的とする。

イ 利用回数:1ヶ月1回を限度とし、1回あたりの利用時間は、7時間とする。

ただし、対象者の状況により、1回あたりの利用時間を4時間とし、1ヶ月の利用回数を2回まで分割することができる。

ウ 管内利用者:1名

(5) 健康相談状況

面接及び電話による随時健康相談を実施している。また、新規及び継続の医療受給者証申請手続き、変更届の手続き等の際し、個別面接相談の実施及び電話による相談等交付時面接及び申請手続きや医療機関等の変更で来所した際の個別面接相談の実施及び電話による相談等にも対応している。

(平成24年3月末)

健康相談延件数	個別面接相談	電話相談
164件	130件	34件

(6) 患者会の育成・自主活動支援

ア 特定疾患患者会「みさわ・もみじの会」への支援

平成9年3月27日に患者会として発足し、平成18年度から、自立した患者会として活動を開始している。保健所は会の企画・運営等に関するアドバイスや定例会の講話の講師等、活動を支援している。また、特定疾患医療受給者証の新規受給者に対して、「みさわ・もみじの会」の紹介のリーフレットを配布し、新規入会者の拡大のために協力している。

(7) 関係機関との連携、地域の療養環境整備等

ア 関係機関との連携について

処遇困難ケースについて、関係者間(訪問看護、訪問介護、地域包括支援センター)でケースカンファレンスを行った。

課題や今後の対応について協議することができた。

イ 関係者への難病保健活動の周知について

市町村地域ケア会議において、「保健所の難病事業について」活動紹介を行った。

7 石綿（アスベスト）に関すること

ア 環境再生保全機構により送付されたポスター、リーフレットを保健所内に掲示し、住民に対しての周知を行った。

イ 石綿（アスベスト）関連事業場周辺にいた住民の健康不安に対応するため、健康に関する問題について相談を受け、石綿による健康被害を受けた方が生活・療養等の補償が受けられるように、被害救済給付申請の受付を行った。

《相談受付実施状況》

相談内容	件数	対応
他人所有の壊れた小屋に、ビニール袋に入ったアスベストがある	1	生活衛生課と対応。町役場へ相談するよう指導。

8 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進関係

人口の高齢化、疾病構造の変化、ノーマライゼーションの意識の高まり等に伴い、住民のニーズが保健、医療、福祉を通じた総合的なものとなる中で、県民だれもが、生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活を送ることができるよう、保健、医療、福祉サービスが利用者本位の視点で、総合的・一体的に提供されることが望まれる。

その実現のために、住民に最も身近な市町村単位で保健、医療、福祉ケアシステムを構築することが必要であり、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実に向けた取り組みに関して支援を行っている。

(1) 上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議

保健・医療・福祉包括ケアシステムの構築に向けて、二次保健医療圏及び市町村の実情に応じた体制整備について協議・検討を行うことを目的に、会議を開催している。

ア 期 日 平成23年12月14日(水) 14:00~16:00

イ 場 所 十和田市総合体育センター研修室(2階)

ウ 出席者数 39名(関係団体委員8名、市町村委員14名出席)

エ 組織会

オ 議 事

(ア) 話題提供

①災害停電時の対応について

話題提供者 川上在宅介護支援相談所 介護支援専門員 横浜 百合子 氏

②野辺地町災害支援ネットワークの取り組みについて

話題提供者 野辺地町健康増進センター 所長 濱中 理智子 氏

(イ) 意見交換

「災害時対応を振り返り、見えてきた課題と今後の対応」

～震災時における難病患者への支援を通して～

(2) 上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進チーム会議

ア 第一回上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進チーム会議

(ア) 期 日 平成23年10月31日(月)

(イ) 協議事項

a 平成23年度上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議の開催について

b 平成23年度上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議の協議事項について

イ 第二回上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進チーム会議

(ア) 期 日 平成23年12月2日(金)

(イ) 協議事項

a 平成23年度上十三地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議の進行および運営に係る事項について

b 会議当日資料について

(3) 橋渡しネットワーク委員会への支援

本委員会は、医療機関の利用者が、退院して地域に生活の場を移行する場合に、適切な退院調整や情報提供を行い、地域において適切なサービスを受けられるように、また、地域で療養している方が医療機関に入院する場合に、スムーズに移行できるように、医療機関と地域を結ぶ橋渡しのためのネットワークを構築することを目的として活動している。

委員会活動は、本委員会が作成した「橋渡しネットワークシート」の周知活動に重点を置き、「橋渡しネットワークシート」の活用について情報提供を行ったり、上十三地域橋渡し看護・関係機関名簿の改訂および周知を行った。

ア 委員 10名

施設名及び所属・職種等	備考
十和田市立中央病院 地域医療連携室 次長（看護師）	委員長
十和田第一病院 看護部 総看護師長	副委員長
公立野辺地病院 看護長	
公立七戸病院 地域医療連携室 看護師長	
老健とわだ 在宅介護支援センター ケアマネージャー（看護師）	
十和田市介護保険課課長補佐（社会福祉士）、保健師	委員1名、オブザーバー1名
十和田市健康推進課 課長補佐（保健師）	
野辺地町地域包括支援センター 保健師	
七戸町地域包括支援センター 保健師	
上十三保健所健康増進課 保健師	

20年度から、野辺地町および七戸町の地域包括支援センター保健師が委員となり、委員が10名となった。

イ 会議開催状況

回数	期 日	時 間	場 所
1	平成23年 5月27日（金）	15:00～17:00	十和田市立中央病院会議室
2	平成23年 7月15日（金）		
3	平成23年 9月28日（水）		
4	平成23年11月30日（水）		
5	平成24年 2月29日（水）		

(4) 介護予防事業及び市町村支援 延べ23回

各市町村の包括ケア会議、サービス調整会議、ケアマネジメント会議等へ委員として出席し支援した。

9 地域保健支援のための総合的地域診断システム構築事業

総合的地域診断システム手法定着事業は、県が開発を進めてきた保健統計等の量的データと面談等の質的データを活用して総合的に地域診断を行うためのツール・手法を完成させ、全県的に普及定着させることが目的である。

総合的地域診断システム推進事業は、県及び各保健総室（保健所）における情報分析機能を強化するとともに、保健所関連業務に係る各種情報をデータベース化する過程を通して質的データの分析手法を確立するものである。

平成23年度は、総合的地域診断手法定着事業として実施。

(1) 総合的地域診断手法定着事業（がん・生活習慣病対策課事業）

市町村が特定健診・特定保健指導のデータを総合的地域診断のモデルとして活用し、市町村における地域の健康課題の明確化や健康施策の企画・評価に向け診断の実践を行うことができるよう各地域健康福祉部保健総室が支援し、それを通じて、総合的地域診断手法を普及するとともにその定着化を図る。

ア 総合的地域診断手法研修会（保健所主催）

日 時：平成24年1月12日 10:00～12:00

場 所：上十三保健所2階会議室

参加人数：23名（市町村健診担当者19名 保健所4名）

内 容：＜講話＞

- ・総合的地域診断について

健康福祉部 大西基喜保健医療政策推進監

- ・総合的地域診断手法について

健康福祉部がん・生活習慣病対策課 山田淑子主査

＜実施状況紹介＞

「総合的地域診断手法を活用して」

東北町（モデル町） 和田真紀子総括保健師

イ ツールの改訂及び教材の作成（本庁実施）

- ・モデル町である東北町において健診・保健指導データの集計・分析を、ツールを活用して行った。

1 0 実習・研修関係

(1) 地域看護実習

大学名	実習人員		実習期間
青森県立保健大学健康科学部看護学科	1 G 1 0 人	2 G 1 1 人	3 日間
弘前大学医学部保健学科看護学専攻	1 G 7 人	2 G 9 人	3 日間
弘前学院大学看護学部	1 G 5 人	2 G 5 人	3 日間
計	4 7 人		9 日間

(2) 初任期・新任期保健師研修

平成21年3月に新たに策定された「青森県保健師活動指針」に基づき、行政に働く保健師の役割を意識付けするとともに、地域保健活動を展開するための基本的な意識及び技術を習得することを目的として、初任期保健師研修（採用1年未満）と、新任期保健師研修（採用1年以上～5年未満）に区分し研修を実施した。

ア 対象者

初任期保健師：三沢市1人、上十三保健所1人

新任期保健師：十和田市2人、三沢市1人、野辺地町2人、六戸町1人、横浜町2人、上十三保健所2人

イ 実施状況

初任期保健師研修（4回）

研修日	内 容	参加人数
平成23年7月25日	保健所の機能、管内の健康課題と活動状況、指導予防課及び生活衛生課業務について、話し合い（新任期保健師研修合同）	2人
平成23年8月4日	福祉こども総室の業務 保健所の特徴的な業務について	2人
平成23年11月14日	講演：保健師活動と記録 県立保健大学 山本春江教授	1人
平成23年12月12日	講演：事例検討の効果的な進め方 元杏林大学教授 塚原洋子氏	2人

新任期保健師研修（3回）

研修日	内 容	参加人数
平成23年7月25日	事例検討：前年度事例検討の振り返り 話し合い（初任期保健師研修合同）	8人
平成23年11月14日	講演：保健師活動と記録 県立保健大学 山本春江教授	10人
平成23年12月12日	講演：事例検討の効果的な進め方 元杏林大学教授 塚原洋子氏	9人

(3) 新任等保健師育成支援

市町村の20歳代等の若手の保健師が行う保健活動について、行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として直接支援することとし、「地域全体を見る能力」「地域に暮らす人々や資源をつなぐ能力」「地域を動かす能力」等、保健師が有する専門能力の向上を図ることにより、地域保健活動を活性化することを目的とし実施した。

1) 実施市町村（青森県新任等保健師育成支援事業）

市町村名	トレーナー保健師	実施日数
三沢市	畑山政子氏	30日間

2) 上十三保健所（青森県新任保健師等育成支援事業）

トレーナー保健師名：北山つね子

実施日数：25日間